



吉田光延 画

発行  
社会福祉法人いわき福音協会  
はまなす 荘  
いわき市平中平窪字二堂田2  
〒970-8002 ☎(0246) 8711  
編集責任  
はまなす荘新聞編集委員会

花見

今年、早い春の訪れと共に満開になったはまなす荘の桜も、今は、清々しく青葉が茂っています。施設周辺を散歩するには、よい季節になりました。さて、新型コロナウイルス感染症の感染者数も全国的に下げ止まり傾向にあり、政府は、新型コロナウイルスの感染法上の分類を五月八日から、季節性インフルエンザと同じ「五類」に引き下げると決めました。これまでに、コロナ感染対策の影響で面会や旅行、そして外出活動等も中止や制限されて「日常の中に非日常を取り入れる」事が当たり前になっていた職員や利用者にとって



所長：羽賀典子

もようやく長いトンネルの出口が見えてきた感じですが。利用者からは「旅行に行きたい」「面会に来てほしい」「ボランティアさんと外出したい」等々の声が聞かれています。実現できるような計画を立てています。嬉しいことに五月からボランティア活動も開始されるようになります、少しずつですが「非日常」が楽しめる機会も増える予定です。今後とも気を緩めることなく、感染症予防対策を徹底しながら、引き続き利用者の皆が安心・安全で笑顔で暮らせる生活環境づくりと、職員もイキイキと働ける職場づくりに努めていきたいと思えます。

日々是好日  
所長：羽賀典子  
今年も気を緩めることなく、感染症予防対策を徹底しながら、引き続き利用者の皆が安心・安全で笑顔で暮らせる生活環境づくりと、職員もイキイキと働ける職場づくりに努めていきたいと思えます。

南限の花

最近、音楽鑑賞にはまっています。何をしてもスマートフォンから音楽をかけている気がします。例えばこれからは仕事に行かなきゃ、という時にはアップテンポの盛り上がりがあるような歌をかけて自信の気持ちや喜びを表現したり、悲しい事があつたらバラード等の歌をかけて感傷に浸ったり、状況に合わせて歌を聴いています。また、幼いころ聴いていたクラシックやゲームのBGM等を聴くととても心が躍りますよね。私自身夜あまり眠れないのが悩みではありますが、そんな時に雨音や小鳥の鳴き声、川のせせらぎの音をながしてみると、驚いたことにスッと眠りに落ちて気が付いたら朝になっていました。私個人の主観なのですが、恐らく羊を百匹数えるより安眠効果があるのでは、と思っています。しばらく音楽なんて聞いていないな、と思った方は音楽鑑賞を生活の一部に取り入れてみてはいかがでしょうか。

# 令和五年度事業計画

事業方針・計画につきましては、法人理念を基本とし、利用者の安心・安全を第一に考え、一人一人のニーズに沿った生活環境の提供及び支援の実践を目指してまいります。また、楽しみを持って生活できるように、あらゆる地域資源を有効に活用し、多種多様な機関と密に連携を図り支援してまいります。また、人材登用及び育成が事業運営においては、最も大切と考え、積極的に人材を登用し、適切で計画的な研修の実施に努め、専門的知

識や技術の取得に努め、質の高いサービスの実践を目指してまいります。さらに、新型コロナウイルス等への感染防止対策や頻発している地震・水害など災害への対応についても避難訓練の実施や備蓄品の確保及び地域自治体との連携を図り、継続的に事業運営ができるよう努めて参ります。

最後に地域の皆様との共有・連携に努め、事業運営していただきたいと思っております。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

令和五年度につきましては、引き続き利用者の安心・安全を第一に考え、基本的な感染防止対策の徹底の継続を図って参ります。その上でボランティア活動の再開や各種行事の外部での実施など楽し

# 令和五年度行事予定

まず初めに、令和四年度につきましても新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、行事及びボランティア等の外部受入れの自粛など、ご不便・ご迷惑をおかけしている事お詫び申し上げます。

令和五年度につきましては、引き続き利用者の安心・安全を第一に考え、基本的な感染防止対策の徹底の継続を図って参ります。その上でボランティア活動の再開や各種行事の外部での実施など楽し

## 節分



二月三日(金)に、食堂にて節分の行事を行いました。

節分にちなんだ紙芝居の読み聞かせからはじまり、

皆さん真剣な表情で紙芝居を楽しみ、今年の年男の佐藤勤さんを紹介しました。その後、鬼の衣装を身に付けて現れた職員に全員で、厄や災難をお祓いする様に大きな声で「鬼はそと、福はうち」と豆まきを行いました。その後は皆さんの楽しみのカルピスと卵ボーロがふるまわれ笑顔が見られました。



季節の変わり目の大切な行事に参加し、皆さんの健康を祈り楽しい時間を過ごしました。

## ひな祭り



三月三日(金)、暖かい春の日差しが降りそそぐ食堂にて、ひな祭りの行事が行われました。

はじめに、ひな祭りの紙

芝居の読み聞かせからはじまり、かわいい子供たちが出てくるお話に優しい気持ちになりました。その後は全員で折り紙でおひな様とおだいら様を折ってそれぞれに好きな顔を描いて楽しみ、食堂のテーブルに飾りました。次は「たのしいひな祭り」の歌を全員で歌いました。最後は皆さん



お楽しみの、桃ジュースとひなあられを食べて季節の行事を楽しみました。

みのある生活環境の提供に積極的に取り組んでいきたいと思っております。三年間と言いう長期間に渡り外部での活動を自粛しており、今年度から

少しずつではありますが再開できることに利用者・職員とも大変楽しみにしております。外部での行事等再開の折には、また地域の皆様や保護

者の皆様にご協力いただくことが多いかと思えます。何卒よろしくお願い致します。



# 新年度に向けて

## 男子棟

新年度を迎える際に、男子棟では、コロナウイルス感染症に一部の方が感染してしまいました。先行きが危ぶまれるスタートとはなりませんが、現在では皆さん後遺症もなく元気に過ごす事が出来ています。

コロナ禍での生活も、もう四年目を迎えることになり、世間では感染対策も緩和に向けて動き始めています。私たちも、利用者様が安心安全に過ごす事が出来るように支援し、今まで出来なかった、グループ旅行や施設行事を行って普段通りの生活を取り戻していければと考えています。

今年度も、利用者様一人一人の意思を尊重し、楽しい生活を送れるよう男子棟一丸と張り合います。

一年間、ご理解とご協力を

どうぞよろしくお願い致します。

## 女子棟

はまなす荘の桜の花も満開が過ぎ、葉桜の緑が鮮やかな季節となりました。そんな中で行われた今年の花見は、天気も良く、暖かい陽気の中で、皆で外に集まり、荘周りの散策やシャボン玉で楽しむことが出来、利用者や職員の間が満開となりました。

コロナウイルスが報道された四年目となり、徐々に感染症の終息に向けた兆しが見えつつある中で迎える新年度。一日も早く制限のない日常生活に戻れることを願っています。

利用者が安心して安全に生活を送れるよう、利用者の声に耳を傾け気持ちに寄り添い、日々の観察と職員同士の連携を密に行いながら支援し

## 医務

毎日が暖かな春の陽気のこの頃、はまなす荘の満開の桜も散り始め、新年度がスタートしました。

昨年度は女子利用者三名が退所され、さみしいお別れがありました。新しく男子利用者二名の入所もあり、四月にも男子一名が入所されました。

この三年間私たちが悩ませたコロナ感染も、ようやく終息に向かっており、今は個人の判断でのマスク使用となり、職員は勤務中は変わらずしていますが、利用者さんや職員の顔色・表情などがより見られるようになった事は良かった事と思います。

今年度は、この三年間のうっぴんを利用者さんと一緒に晴らし、怪我なく元気に楽しんで

## 厨房

今年も、はまなす荘の桜は綺麗に咲き誇り、利用者さんのお花見も、心むむひと時でした。その反面、世の中は物価高に歯止めがきかない状況です。鶏インフルの影響もあり、当施設でも、献立内容や食材の見直しを余儀なくされており、大変心苦しく感じている所です。

しかしながら、利用者さんには美味しく安全な食事の提供を第一に考えていかなければなりません。美味しく安全に食べる為にも、昨年度より福島整肢療護園の言語聴覚士による嚥下の検査を始めました。嚥下の状態を評価する事で、いつまでも美味しく安全に食べられる様に支援していければと考えております。

今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

## 花見

四月十三日(金)に、荘内にて「花見」を実施しました。今年是全国的に桜の開花が早く、花びらは残念ながらほとんどが散ってしまっていました。しかし、花見は出来ずとも、当日は天気も晴天で、春の陽気を感じるには持ってこいの日になりました。

外で日光浴をしながら、シャボン玉を楽しみ、午後は玉入れやストラックアウト、輪投げにアチゴルフと、楽しみながら身体を動かしました。そして、最後は、やはり「花より団子」皆でおやつを食べてみました。



### ボランティア活動・意見交換会

令和五年二月二十八日(火)に、はまなす荘会議室にて令和四年度ボランティア活動・意見交換会が実施されました。約三年ぶりに各ボランティアの代表の方々が出席され、今後のボランティア活動に向けて、今の活動状況を踏まえた話し合いを行いました。意見交換会の中でもボランティアの方から「できることをやっていきたい」という話が聞かれ、職員として非常に心強い限りでした。意見交換会終了後、現在のはまなす荘の中をご案内させていただきました。利用者さんも久々のボランティアさんとの再会を喜んでいました。新型コロナウイルスにより、長くボランティア受け入れを中止していましたが、令和五年度は、ボランティアの方々と一緒に利用者さんの生活の支援に取り組んで参ります。



## New Face Introduction

### 職員紹介

- ①名前
- ②職種
- ③趣味・特技
- ④抱負



① 根本 眞佑  
 ② 支援員補助  
 ③ YouTube視聴、お菓子作り  
 ④ 頑張ります。



① 山野辺 樹  
 ② 支援員  
 ③ ビオトップが好きで、メダカの飼育をしながら癒されています。  
 ④ はまなす荘を利用されている全ての利用者さんが、安心して安全に楽しく過ごせるよう頑張っています。

## 功労賞

今年度の功労賞授与式は、新型コロナウイルス感染者発生に伴い、四月に延期となり、四月二十一日に実施しました。

- 男子棟 千葉 聖也さん
- 女子棟 篠原めぐみさん
- 所長特別賞 若井 和代さん

以上の三名が受賞となりました。

千葉さんは、健康で元気に生活を送れるよう積極的に運動に取り組みました。篠原さんは、一年間、透析を頑張り、通院も頑張りました。作業の時、洗濯物運びも積極的に頑



張りました。若井さんは、事務所に女子棟の新聞を取りに行くことと健康のために運動することを積極的に行いました。

今年度、受賞した方々はこれからも頑張っていて続き、他の利用者も受賞できるように頑張りたいと思います。

## 異動者送別会

自治会主催にて異動者送別会を三月三十一日(金)に行いました。

平成十六年から十九年間はまなす荘を支えてきた永山京介さんが本部に異動することとなりました。男子棟がコロナクラスターの時期であっ



ため女子棟利用者、職員のみでの実施となりましたが、職員、利用者共に別れを惜しむ声は多々聞かれており、永山さんの存在がどれほど大きかったか知りませんでした。長い間お世話になりました。益々のご活躍を職員、利用者一同願っております。

## 退職・異動者

### 《異動》

●平成十六年から十九年間はまなす荘で勤務されていた永山係長が本部に異動となりました。新天地での活躍を期待しております。

## 編集後記

今年の干支は卯です。卯年には植物の茎や葉が大きくなることにちなみ、「成長」の年といわれています。また、うさぎが跳びはねることから「飛躍」の年であるとの意味もこめられています。今年一年、飛躍と成長の年になるよう頑張ります。